

事務局 プロジェクト

愛知県被災者支援センター 運営支援事業

県内に避難してきている被災者約1,250名の方々の支援を担う「愛知県被災者支援センター」の運営事業へ継続して出向します。今年度は、県内全避難者への戸別訪問を通じて、市町村や各種専門家と連携をした見守りネットワークの構築を図ります。

まち育て推進 グループ プロジェクト

中心市街地空き店舗活用 促進支援事業

株式会社まちづくり岡崎と連携し、康生地区界隈の中心市街地の価値向上と再生をめざし、出店者誘致ならびに空き店舗活用を促進における全体コーディネートを担当します。今年度は、マッチング機能の確立（情報プラットフォームの整備）と活用モデルの事業化を進めます。

インターン受入事業

自治体職員や大学生のインターン受け入れを「まち学習を提供する機会」と捉え、受講者に充実した学びを届けると共に、りた自主事業（委託事業以外）の質を高める重要な人材として位置づけ、まちづくりの必要性を学んでいただきます。

まち育て コーディネータ養成事業

りた新規採用職員並びに既存職員を対象とし、市民活動、まちづくりの支援者として従事できるよう研修を行い、スキルアップやノウハウの共有、事業推進を図ります。

岡崎百景選定事業

100年後の未来に伝え遺したい「ふるさとの景観」を、市民の手で「見つけ」「つなげ」「広め」「育て」ていく「岡崎百景」を選定。岡崎らしい景観を選定し、まちに対する市民の誇りと愛着を醸成し、これからのまちを考える機会としていきます。

SB/CB促進啓発事業

地域の課題解決に取り組む人材の育成、事業の戦略づくりや創出促進を通じて、持続可能な事業化を支援。また、これまでの蓄積をもとに、支援体制の構築やコミュニケーションツールの開発を実施します。

まち育ての 専門家派遣事業

岡崎市各種委員会や各種大学におけるまちづくりに関する講義、愛知県各種会議やNPOネットワーク会議への参加を通じて岡崎のまちづくりを推進するとともに、NPO業界全体の支援体制の仕組み作りにも努めます。

市民活動に関する情報 受発信の仕組構築事業

市民活動情報やボランティア情報、NPO支援情報の一元化、おかげ市民活動情報ひろばやSNSによる配信ツールの整備などを実施。また、紙媒体における情報展開にも着手し、りたの事業の可視化と共有を図ります。

市政100周年事業 検討事業

平成28年に迎える市制100周年記念事業の一環として、学区単位で作成する「(仮称)エリアブック」の構成とつくり方（情報の集め方、執筆、編集、レイアウトなど）を検討し、全学区で応用可能なひな形案を作成します。

地域ニーズ調査事業 (松本町)

少子高齢化が進む松本町において、お年寄りの暮らしのニーズに応じたコミュニティ・ビジネスのあり方を模索し、同様の課題を有する地域への横展開を図るための基礎調査を実施。

りたの 2014年度

りたは、そこに暮らす人みずからが、自分たちのまちの解決すべき課題に取り組んだり、大切にしたい資源を遺し、つくり、育み、次の世代に受け継いでいくために、住民、地域団体、市民団体、学校、行政、企業といった様々な担い手が、それぞれ「お互いさま」の関係を築いて協働していけるよう、場所と人、人と人の橋渡しをするつなぎ役を目指しています。

今号では、2014年度の主要テーマと、その具体的な取り組みをご紹介します。

2014年 目標達成のための4つの主要テーマ

(1) 景観

りたは、景観法に定められた「景観整備機構」として、岡崎市内に潜在する地域資源（風景、建物、工芸、ひとの営みなど）を市民自らが再発見ならびに再認識し、わがまち意識を育める事業を展開します。

【該当事業】 百景大撮影会ほか

(2) 防災

岡崎市とりたが締結した「災害時における岡崎市地域交流センターの運営等に関する協定書（災害時協定）」をより具体的に咀嚼し、関係機関と連携しながら地域住民が自ら防災や減災を考える機会を提供することを通じて、普段の地域コミュニティのつながりを強化していきます。

【該当事業】 防災イベント、防災講座ほか

(3) 福祉

まちの更新や少子高齢化に伴う福祉機能の低下に対して、社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、学区福祉委員会、地域包括支援センターなど既存の担い手の目的と役割の関係性を整理し、地域の様々な活動と結びつける「ファシリテーター」として、より多くの市民や団体が参加できる地域福祉の在り方を模索します。

【該当事業】 老人クラブ交流会、世代間交流イベントほか

(4) マッチング

様々な地域課題の解決に向けて、市民・市民団体、行政、事業者などの担い手が横断的に協働できるよう、ヒトとヒト、活動と活動、モノとモノ、情報などのつなぎ役「協働コーディネーター」の育成とその体制づくりを行い、市民活動や地域活動の活性化を目指します。

【該当事業】 まちびとバンク/もののバンク、市民公募型協働事業、地域活動交流会、まちフェスほか

地域交流センター・市民活動センタープロジェクト一覧（一部）

●北部（なごみん）

日付	名称	ねらい	テーマ			
			景観	防災	福祉	マッチング
9/30	北部地域活動報告交流会	地域のために活動している団体に発表の場を提供し、団体同士や市民とのつながりを創出。				●
10/18	なごみん防災講座	防災・減災意識の啓発を行い、地域住民の方の災害時に使える知識を高めます。	●			
6月 11月	岩津ゼミ支援	岩津の商店が魅力を発信する事業の広報協力や運営相談、講座などを行います。				●
4月 3月	花咲ボランティア	敷地内の花壇を地域に開放し、地域ボランティアの受皿となって一緒に環境整備を行います。				●
4月 3月	なごみんカレッジ	空き部屋を活用して、活動団体には公益活動の機会を、地域の方には様々な学びの機会を提供。				●

●西部（やはぎかん）

日付	名称	ねらい	テーマ			
			景観	防災	福祉	マッチング
1/17	防災学び合い交流会	各学区の防災訓練・避難訓練の実態を把握した上で、各地域の防災活動や課題に関する情報交換を行い、地域防災力を高めます。		●		
3/8	7周年春まつり	団体の発表・展示の機会提供だけでなく、団体の自発的な取り組みを創造することで活動の活性化を支援します。				●
4月 3月	やはぎお宝マップ	矢作のさまざまな情報を収集し「やはぎお宝マップ」としてまとめ、矢作の魅力の啓発を行います。	●			

●中央（りぶら市民活動センター）

日付	名称	ねらい	テーマ			
			景観	防災	福祉	マッチング
3/15	岡崎まち育てフェスタ	市内の公益的活動団体、NPO法人を招き、交流と対話の場づくりとして実施予定。				●
4月 3月	ものものバンク まちびとバンク	市民活動団体の「ヒト・モノ」問題を支援するために、情報収集とマッチングを行います。				●

●南部（よりなん）

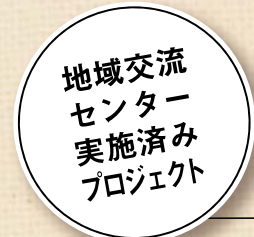
日付	名称	ねらい	テーマ			
			景観	防災	福祉	マッチング
10/25 10/26	よりなん感謝祭	団体の発表・展示の機会提供だけでなく、団体の自発的な取り組みを創造することで活動の活性化を支援します。				●
12/14	よりなんクリスマス会	民生委員中心の団体とコラボレーションし、南部地域の子育て支援活動の促進を図ります。				●
2/20	上地学区老人クラブ交流会	老人クラブの活動を支援するとともに、福祉分野での地域問題解決のための学びの場を提供し、自らが行動する意識を啓発します。				●

●東部（むらさきかん）

日付	名称	ねらい	テーマ			
			景観	防災	福祉	マッチング
9/7	むらさきかんフェスタ	市民活動団体の活動発表の場を提供し、市民活動の促進と啓発を図ります。				●
12月	東部地域活動報告交流会	地域のために活動している市民活動団体を中心に活動報告と交流の場を提供します。				●
2月	防災講座	災害に対する講話や体験を盛り込んだ学びの場をつくり、地域防災活動の促進を図ります。		●		
4月 3月	藤川・竜谷支援事業	藤川は米屋運営などの地域活性支援、竜谷は福祉ネットワークの形成支援を行います。				●
4月 3月	生活相談事業	介護や家庭内暴力など、様々な生活相談の窓口を担い、専門機関への橋渡しを行います。				●

●5センター共通

日付	名称	ねらい	テーマ			
			景観	防災	福祉	マッチング
4月 3月	百景大撮影会	岡崎市内5エリア各100名に「写ルンです」を配付し、まちの魅力カメラを通して見つめなおす機会を提供。交流センター、市民活動センターと連携しながら実施します。	●			



目標を実現するためにテーマに沿ったさまざまな取り組みを実施しました。

は該当するテーマ

なごみん 4/19～4/20



なごみんフェスタ

活動団体と市民の交流の場を提供することで活動の促進をめざしました。来場者アンケートからも「興味を持った活動団体がある」との回答が多く、周知機会として手ごたえを感じました。

なごみん 8/5～8/9



なごみん横丁

子どもたちが自ら考えまちを創っていくことで自主性や創造性を育むと同時に、将来のまちの担い手育成につなげました。また、たくさんのボランティアに支えていただきました。

よりなん 6/8



防災フェア

地域の防災意識向上のために、「防災について各自が考え体験する機会」を提供しました。体験の前と後に実施した来場者アンケートでも防災意識の変化が見て取れました。

よりなん 7/27



昔のあそび体験フェスタ

昔あそびを通じて世代間交流を促進し、顔の見える地域づくり意識を高めるために開催しました。

やはぎかん 5/11



花のとう協賛イベント

地域ならではの文化や慣習の伝承とまちへの愛着形成をねらい、地域の伝統行事「花のとう」協賛イベントを実施。風物詩だった花苗市場の復活やお宝マップ、今昔写真展などを行いました。

やはぎかん 6/28



やはぎ「防災」講座（水害編）

水害のリスクが高いと言われる矢作地域の特性を知り、地域防災力を高めるためのプログラムを実施しました。災害時情報弱者になりがちな高齢者、外国人への対応も学びました。

やはぎかん 8/24



子どもの街

「親子で学ぶ」をテーマにボランティア講師による知恵と技の継承、交流を図るプログラムを子どもたちに向けて実施しました。

むらさきかん 5/17



むらさき麦まつり

藤川の地域支援の一環として藤川宿とむらさき麦のPRイベントのサポートや連動企画として藤川を知っていただく展示や団体の発表を実施し、イベントのにぎわい創出を行いました。